

移動市長室を開催



▲柿崎区での様子

市長が地域に赴いて執務を行う「移動市長室」を、2月16日に板倉区、18日に柿崎区、22日に浦川原区の各総合事務所で行いました。移動先の市長室では、市民の皆さんから地域の課題や市政への要望などをお聞きするとともに、意見交換を行いました。4月には、11日①に「直江津方面・頸城区」、19日②に「高田方面・三和区」、27日③に「名立区」の皆さんを対象に開催します。詳しくは市ホームページをご覧ください。



市ホームページ

区災害対策本部との情報共有会議 2/24



連日の降雪に伴い、積雪が基準を超え、新潟県災害救助条例が適用された中郷区、板倉区、牧区、安塚区、大島区、清里区の6区の災害対策本部との情報共有会議をオンライン形式で行いました。

中川市長が各区に対し県条例の適用に伴う除雪費補助の対応のほか、対象の人のみならず、区にお住まいの皆さんの生活全般について、きめ細やかな気づきと対応を行うよう指示しました。さらに、融雪に伴う被害や除雪中の事故への注意について呼び掛けること、引き続き、対応に万全を期すよう指示しました。

集落づくり推進員通信

4



市ホームページ

中山間地域の暮らしを守り、活力の維持・向上を図るためさまざまな支援を行う「集落づくり推進員」。今回は板倉区の野口推進員を紹介します。

—どんな活動をされていますか？

担当集落の地域活動支援および持続可能な取り組みに対して協力をしています。

特に、私自身が移住者であることを生かして、移住促進事業の取り組み支援や地域おこし協力隊の受け入れ体制を地域の皆さんと進めています。また、地域主体の取り組み支援として、お祭りやイベント、景観づくりなどに協力し、一緒に楽しみながら活動しています。

—活動の中で感じていることは？

2月に寺野地区で寺野遊雪まつり



板倉区 野口 佳子 推進員



がありました。毎年冬に行われるイベントで、30回目の節目の年になりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため昨年は中止し、今年も日中のイベントを取りやめ、ホコラローソクと雪上花火大会のみ行いました。地域の皆さんと雪の壁にスコップで穴を開けてホコラローソクの準備をしました。みんなで地域のイベントを成功させようとする一生懸命な姿に感動しました。

高齢化や過疎化が進んでいますが、雪国の暮らしの良さをもっとPRできたらと思っています。

—今後の目標を教えてください

住民が安心・安全な生活を送るため、地域の課題について一緒に考えます。地域が残したい宝を守り、地域の皆さんが「笑顔」になれるような活動をしていきます。